

個人質問

30人の議員が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

全員の個人質問は市議会ホームページのインターネット議会中継で配信しています。

暮らし・防災

Life Disaster Prevention

各区の活性化と振興につなげる
区別計画を策定

問 策定する上での視点や工夫は。

答 区別計画は、各区の課題に対応し、区の特性を生かしたまちづくりを推進するために策定するもので、区の現状と課題、区づくりの将来目標、施策の方向性などを取りまとめる。

そのためには、市民協働の視点を踏まえ、市民と行政でまちづくりの課題等を共有していく。

また、区の中にも特徴のあるエリアがあるため、地域でワークショップを開催し、地域ごとの課題やアイデアを出して全庁的に振興策を考えていく。



あくら通り沿いに建設中の新川崎病院

新川崎病院へのアクセス向上と
渋滞緩和を

問 周辺道路の一方通行を見直し、最良の動線確保が必要では。

答 現在、新川崎病院西側にある南行き一方通行の市道中山下5号線を、開院までに対面通行にする予定。これにより、救急車も含め、電車通りから迂回することなく病院へアクセス可能

となる。

また、病院北側のあくら通り
に左折専用レーンを設け、渋滞緩和と東側からの車両アクセスの向上を図る。さらに、混み合う時間帯を中心に、病院が交通誘導員の配置を検討すると聞いている。これらの対策により、周辺の交通環境への影響は少なくなると考えている。

モデル地域を選定し

中山間・周辺地域の課題解決を

問 平成27年度の「中山間地域等実態把握アンケート調査」を踏まえて実施している、中山間・周辺地域活性化検討事業の進捗状況は。

答 調査結果から、日常生活機能の維持や移手段の確保、子育て環境など、地域ごとの実情や課題を把握した。

28年8月ごろには課題解決に取り組むモデル地域を4カ所程度決定し、各地域の課題について検討体制を構築するとともに、ワークショップや勉強会を実施し、28年度中に課題解決方策の結果をとりまとめる。

平成30年度末の

耐震化完了を目指す

問 規模の大きな市有施設の耐震化はどの程度進んでいるのか。

答 平成25年2月に策定した「岡山市有建築物の耐震化計画指針」に基づき耐震化を進めており、28年度末の耐震化率は、

81.8%になる予定。本庁舎や地域センターなどを除き、防災拠点や避難所等の早急な対応が必要な施設のうち、29年度末までに、学校・園の耐震化を行う。

南区浦安南町の岡山市総合文化体育館や南区豊成一丁目の市民屋内温水プールなど、その他の施設については、30年度末の完了を目指している。

水道管の耐震化と応急給水で
災害に備える

問 熊本地震を踏まえた、避難所の水の確保は。

答 本市では、主要な14カ所の配水池に^{※4}緊急遮断弁があり、浄水池、耐震性緊急貯水槽と合わせ、70万市民が最低限必要とする6日間分の水を確保できる。

また、避難所となる小・中学校のうち、117カ所の受水槽に応急給水栓を設置しており、給水車で受水槽への補給を行うことで市民へ給水ができる。

ただ、応急給水はあくまで臨時措置であり、避難所のほか、医療機関、災害対策本部が設置される庁舎等の重要給水施設に、震災時でも給水を継続することができるよう、施設までの水道管路の耐震化を進めている。



熊本地震での応急給水活動の様子

※用語解説 ※4【緊急遮断弁】

配水池に設置されており、地震発生時に地震の揺れや水道管の破損による流量の異常を検知して自動的にバルブを閉止し、配水池からの水の流出を防ぐ

子育て・教育

Child Care
Education

多くの園児でにぎわう太伯認定こども園

開園から一年の認定こども園

問 効果と課題は。

答 友達関係が広がり、より多くの刺激を受けることで、互いの学び合いにつながっている。また、3歳児教育の受け皿として、平成28年度の開園を含め60人の定員を拡大している。さらに、1号認定(幼稚園要件)の子どもへの給食の提供は、食の体験を広げ、同じものを食べる喜びを味わうことで、食育にもつながっている。

職員にとっても、それまで保育士と幼稚園教諭だった職員が、それぞれの経験を生かして同じ職場で勤務することにより、資質の向上に役立っている。

今後は、子どもの在園時間や日数の違いによる保育の工夫や見直した点などを、保育園・幼稚園の職員へも広め、全体の質の向上につなげていきたい。

待機児童の考え方を見直し
保育の受け皿を拡大

問 待機児童の多い地域の対策や幼稚園の活用方法は。

答 本市では平成28年に、市民の実生活やニーズにあうように待機児童の考え方を見直し、待機児童数を729人と公表した。

待機児童の多い地域を中心に、

保育所の新設等に加えて、小規模保育事業や事業所内保育事業の事業者を早急に募集するなど、29年4月には800人以上の受け皿を拡大することになっている。

また、28年4月に、国から待機児童解消の緊急的な取り組みメニューが示されたことを受け、市立幼稚園の余裕教室を活用し、保育園等への入園までの緊急的な一時預かり事業を検討している。

市民に寄り添った保育相談を

問 本市の保育相談体制は。

答 各福祉事務所と就園管理課に「保育利用者支援員」を合計10人配置している。平日の開庁時間に、窓口や電話等で保育サービスの相談を受けたり、情報提供を行うとともに、保育利用申込受付業務等を行っている。

平成27年度の相談件数は、1万1,000件を上回り、一定の成果はある。今後もより一層保育サービス利用者に寄り添えるよう、きめ細やかな対応に努める。

放課後児童クラブの
運営委託を検討

問 制度上の整理は。

答 運営を担っている各運営委員会の事務処理の負担軽減や人材確保等のため、現在、運営事務局(仮称)の設置に向けた取り組みを行っている。

本市の放課後児童クラブは、長年、地域の子どもの地域で守り育てるという市民協働理念のもと、地域の運営委員会が運営を行ってきた。このため、地域との連携を十分にとることができ、児童福祉事業の実績がある、

公益財団法人、社会福祉法人などを運営委託先として想定している。制度設計については児童クラブ連合会とも協議したいと考えている。

子どもの貧困対策は喫緊の課題

問 2月定例会市議会後の動きや実態調査、協議の場の設置は。

答 教育、生活、就労、経済の支援に関わる部局からなる協議の場を平成28年8月にも設け、生活保護やひとり親家庭、社会的養護の現状、就学の状況等を把握していく。併せて、関係機関や地域で支援を行っている団体やNPO、有識者から意見を聞くとともに、必要に応じて、地域の実態を把握するための手法も検討していく。

その上で、本市の対策を取りまとめ、子どもの貧困に関する指標を定め、学習・就労支援等を実施しながら、効果を継続的に検証していく。



イメージ教育の様子

※5 イメージ教育の研究成果を生かして外国語活動を充実

問 本市の全体的な学力向上という目標のためにも、実施校を増やす必要があるのでは。

答 現在、国で小学校中学年への外国語活動の導入や高学年での教科化が検討されていることもあり、イメージ教育の研究成果を生かして、全ての小学校で外国語活動の充実を図ることになっている。

◆用語解説 ※5【イメージ教育】

イメージとは「浸りきる」という意味で、児童に英語をシャワーのように浴びせる環境をつくり英語力を高める教育

◆用語解説 ※6【ホストタウン】

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を国が「ホストタウン」として登録する。平成28年6月14日現在、91件が登録されている

まちづくり・経済 Community Planning Economy

立地場所が決まった
新しい文化芸術施設

問 役割や市長の思いは。

答 中心市街地1キロメートルスクエアの南東角のランドマークとして、にぎわい創出や回遊性向上など、中心市街地の活性化に向けた核となり、長年にわたり市民に親しまれるとともに、文化芸術を創り出すクリエイティブな機能を持ち、見た人を惹きつけ、にぎわいの中心となるような象徴性を備えた外観の施設としたい。

施設ができることで街がどのように変わっていくのか、どのような使い方ができるのかなどを、シンポジウムやワークショップ等を通じて市民と模索していきたい。

オリンピックを契機に
ブルガリア共和国と交流

問 2020年東京オリンピック・パラリンピックの※6ホストタウン申請は。

答 ホストタウンについて、平成28年度に入り、本市と国際友好交流都市のプロヴディフ市があるブルガリア共和国から、前向きな回答があった。

今後、28年10月末締切のホ

ストタウン第三次登録の申請に向け、ブルガリア共和国と、事前キャンプ受け入れや楽団の相互交流、市民訪問団の相互派遣、ユネスコスクール活動を通じた相互交流など、実現可能な事業内容について早急に調整したい。



海開き前に行われた宝伝海水浴場の清掃

美しい海と川を未来に

問 瀬戸内海や、流入する河川の一斉清掃を呼びかけては。

答 瀬戸内海の保全活動の一環として、毎年7月の海開き前に、宝伝海水浴場で市民や関係団体等の約150人が、ボランティア清掃を実施している。

また、平成27年7月には、漁業関係者による漁場クリーンアップ作戦が実施され、同年12月には、民間団体による六番川付近のボランティア清掃が行われた。さらに、岡山県や本市の※7アダプト事業に登録している団体が、河川や海面の清掃活動を行っている。

本市としては、活動の機運が高まるよう実施団体と連携し、清掃活動の呼びかけ、ネットワークづくりや交流の取り組みを検討していく。

岡山型ヘルスツーリズム

拠点化事業(仮称)で産業活性化

問 国を絞ったトップセールスを行っては。また、これを契機

に農業・製造業の活性化に生かしては。

答 ムスリムをおもてなしする岡山独自の受け入れ体制を整備した上で、ガイドブックやプロモーションビデオを製作し、イスラム教を国教とするマレーシアやインドネシアの旅行会社等を対象とした商談会に出向き、トップセールスを行いたい。さらに、両国のメディア関係者等を本市に招き、岡山の良さを情報発信してもらえるよう働きかけたい。

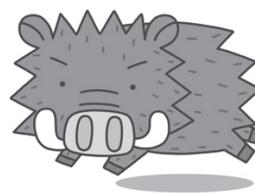
また、地産地消と農業の新たな方向性の一つとして、農業・農村観光に取り組むとともに、ハラル対応を切り口に商機拡大を図るため、市内全域を対象に農業・農村体験の観光メニュー化に向けて資源調査を実施し、農業・製造業の活性化に生かしていくべきと考えている。

感謝状を検討

問 猟友会駆除班で長年活躍された人の功績をたたえることを検討しては。

答 深刻な農作物被害を引き起こしている有害鳥獣に、これまで猟友会駆除班が、暑い夏場など過酷な環境の中で捕獲活動に従事してきた実績や役割は大きい。また、今後もその活動には大きな期待が寄せられている。

そこで、市として謝意を示すためにも、感謝状の交付を検討したい。



プロヴディフ市庁舎と市章

◆用語解説 ※7【アダプト事業】

住民と行政が協働で進める清掃や緑化、自然保護活動等の自主的な環境づくり活動。アダプト(Adopt)とは英語で「養子にする」の意味で、一定区画の公共の場所を養子にみ立て、住民がわが子のように愛情をもって清掃美化等を行い、行政がこれを支援する